

令和4年度 地域包括ケアシステム構築に向けた地域づくりについて（稲田地区・生田地区）

1. 稲田地区の地域特性

- (1) 宿河原、長尾、堰の大字会と小規模町会で構成
- (2) 町会ごとの取組は類似しており、連携もあるが考え方は異なり、地区全体としてのまとまりが薄い
- (3) 各町会に拠点となる町内会館がある
- (4) 地域ごとに成り立ちが異なり、意識や地域づくりへの姿勢に違いがある
- (5) マンション等への若年層の転入者と高齢者が混在した地域

2. これまでの主な取組

- (1) 町会ヒアリング調査 (H29年度～)
 - 各町会の活動や関係性などを整理。お祭や防災関係など特定分野で連携はあるが、抱える課題や住民の意識、担い手の層などに地域差があり、稲田地区全体としてのまとまりは薄い。
 - 堰町会会長にヒアリング (R2年度)
- (2) 長尾町会、長尾台住宅自治会への働きかけ (H29年度～)
 - 長尾台住宅自治会で「これからの長尾を語ろうみんなの集い」、認知症予防講座、認知症サポーター養成講座、運動講座等を長尾会館で開催。自治会内住民（279世帯）を対象にアンケート調査を実施し、自治会の総会でアンケート結果を返した。
 - R1年度に「カフェながお」立ち上げ。
- (3) キーパーソンヒアリング (H30年度～)
 - 地域で活動している団体関係者から地域情報を収集。
 - 子育て関係機関にヒアリング (R2年度 宿河原)
 - 堰町会及び地域活動団体の基礎情報収集のためのヒアリング実施 (R3年度 堰地域)
- (4) 宿河原地区へのはたらきかけ (R3年度)
 - 「子育てサロン いちののさん！」における多摩区社協との連携
 - 地域コミュニティ連絡会との連携
 - 緑化センターとの連携



「これからの長尾を語ろうみんなの集い」の様子

3. 令和4年度の地域づくりの取組

- (1) カフェながおの活動支援（長尾地域）
 - カフェながおの新代表から活動を再開した旨の御連絡があり、7月に区役所にて打合せ。
 - 10月17日（月）14：00～カフェながお参加。
 - 保健師による講話を今後企画できたら、とのことで、また御連絡いただくこととした。
- (2) 地域コミュニティ連絡会との連携（宿河原）
 - 7月及び9月に川崎市緑化センター長あて架電し、地域コミュニティ連絡会の進捗確認。
 - 地域の中心となる団体がコロナ禍のこともあり取組に消極的とのことで、様子を見ながら進めるとのこと。会議等を実施する目途が立ったらご連絡いただき、同席させていただくこととした。
- (3) 堰町会とのコンタクトの継続（堰）
 - 10月に堰町会会長あて架電し、現在の活動状況を確認。
 - 予定していた活動等については、コロナ禍の中で無理をしてやらなくてもいいのではないかと、といった雰囲気。町会の活動についてはまだまだ慎重な意見が多いとのこと。
 - 何か実施する場合は見学させていただきたい旨お伝えし、その際にご連絡くださるとのこと。

4. スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------------------------|-----|-----|------------|-----------|----------|----|--------|--------------|-----|----|----|------------|
| 地区担当者会議 5地区合同定例会 | 28日 | 27日 | 必要に応じて随時実施 | | | | | 7日 | | | | 第3回 |
| カフェながお支援 | | | | ●7日新代表打合せ | | | ●17日見学 | | | | | 必要に応じて随時支援 |
| 地域コミュニティ連絡会との連携 堰町会ヒアリング | | | ●連絡会進捗確認 | | ●連絡会進捗確認 | | | ●28日堰町会ヒアリング | | | | |

1. 生田地区の地域特性

- (1) 63の大小さまざまな町会やマンション管理組合等がある
- (2) 町会の構成や活動の内容・頻度は様々
- (3) 地区の範囲が広く、住民の居住環境も様々
- (4) 昭和30年代後半から始まった土地区画整理事業により良好な住環境が形成されているが、高齢化が進んでいる
- (5) 生田地区町会連合会を通じて、情報の共有や活動の連携を広げられる土壌がある
- (6) 地区内に3大学があり、地域資源になっている（日本女子大学は令和3年4月に目白へ移転）

2. これまでの主な取組

- (1) かりがね台モデル事業 (H28年度)
 - かりがね台自治会(西生田5丁目)をモデル地区として選定し、キーパーソンヒアリング、全世帯へのアンケート、ワークショップを開催し、様々な企画を検討。井戸端の会発足。
- (2) 生田ご近所パワーアップ会議 (H29年度)・生田ご近所パワーアップ集会 (H30年度～R2年度)
 - かりがね台モデル事業と生田地区町連勉強会をもとに、地区全体で地域課題を考えることを目的に生田地区町連を対象に連続講座(2回)開催。
 - 民児協区域単位で3大学(日本女子大、専修大学、明治大学)と連携し、身近な地域の活動や課題について考える住民向けの集会を開催。
 - H30年度：生田第2地区民児協区域、R1年度：生田東地区民児協区域、R2年度：生田中央地区民児協区域(コロナ禍により集集中止→リーフレット発行)
- (3) 町内会・自治会ヒアリング調査 (H30年度～R3年度)
 - 生田地区の各町会の活動や課題、町会間の連携や関係性等を聞き取り、町会を中心とした視点での地域の実態を調査。(H30：12町会、R1：13町会、R2：7町会、R3：1町会 ⇒ 計33町会/63町会)
- (4) 生田出張所を活用した取組 (R3年度)
 - 生田出張所新庁舎オープニングイベントにて、コロナ禍でのつながりづくりのきっかけとすることを目的とした講演会を開催。



3. 令和4年度の地域づくりの取組

- (1) 町内会・自治会、地域活動団体等へのヒアリングの実施
 - 〔目的〕町内会との関係づくり、地域課題の把握、地域資源・人の発掘、他団体等とのつながりの把握
 - 〔対象〕町内会・自治会、地域包括支援センター、地区社会福祉協議会、地区民児協、いこいの家、こども文化センターなど
- (2) 地域資源の分布や課題が見える化（マップ化）
 - 〔目的〕地域資源の所在・分布等を把握し、地域課題解決のための内部向け基礎資料とする
- (3) こども文化センター職員向け「地ケアって？」研修の実施（三田・枅形・錦ヶ丘3館合同：9月）
 - 〔内容〕地域包括ケアシステムの概要や生田地区における取組について
- (4) 介護予防教室（高血圧予防）等の実施（葉月町会老人会：8月、生田町会連合会婦人部：11月）
- (5) 地域防災訓練での健康づくり啓発活動（南生田小：11月）
- (6) シニア向けスマホ教室の開催（生田出張所：全4回2月開催予定）

4. スケジュール

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---------------------|-----|-----|-------------|----|----------------------|----|------------|----------------------|------------------|----|----|-----------------|
| 地区担当者会議 5地区合同定例会 | 28日 | 27日 | ●必要に応じて随時実施 | | | | 27日 | 7日 | | | | 3日 |
| 町内会・自治会等への ヒアリング | | | | | | | ●地域へのヒアリング | | | | | |
| 地域資源の分布・課題の 見える化 | | | | | | | | | ●地域資源の分布・課題の見える化 | | | |
| 地域づくりに関する各種研修 等 | | | | | ●介護予防普及啓発 ●こ文職員研修 | | | ●介護予防普及啓発 ●地域防災訓練 | | | | ●シニア向け スマホ教室 |